

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	34,966	△0.5	4,953	21.3	5,111	16.9	3,180	17.1
25年3月期第2四半期	35,130	7.4	4,082	△20.4	4,374	△18.7	2,716	△20.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 3,450百万円 (38.1%) 25年3月期第2四半期 2,498百万円 (△21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	220.51	—
25年3月期第2四半期	188.35	—

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度(平成25年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第2四半期	56,897		35,954		62.8	
25年3月期	56,227		33,584		59.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 35,757百万円 25年3月期 33,380百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6,000.00	6,000.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)の1株当たり配当については、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で行った株式分割を考慮した額を記載しております。

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	1.4	7,300	13.7	7,500	9.9	4,600	7.1	318.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で行った株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	14,422,200 株	25年3月期	14,422,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,422,200 株	25年3月期2Q	14,422,200 株

当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度(平成25年3月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割及び単元株制度の採用について)

当社は平成25年4月26日開催の取締役会において、株式分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行うとともに1単元の株式の数を100株とする単元株制度の採用を行いました。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成25年10月30日(水)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 販売の状況 .....	12
(2) 四半期個別業績情報（参考） .....	12
(3) 役員の異動（役職の異動） .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高水準の是正、活発な公共投資、好調な個人消費などを背景に景気は回復しつつありますが、今後、消費税増税を前に、改善した消費者マインドへの影響が懸念されます。

放送業界におきましては、広告市況は回復基調にあり、有料放送市場は、デジタルテレビの普及、BSデジタル放送の多チャンネル化による好影響を経た後、堅調に推移しております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における収支の状況は、有料放送収入は前年同期に比べ増加しましたが、その他の収入が前年同期比で減少したことから、売上高は349億66百万円と前年同期に比べ1億64百万円(△0.5%)の減収となりました。前年同期に大型番組の放送を行ったため、番組費が前年同期に比べ減少したことなどにより、営業利益は49億53百万円と前年同期に比べ8億70百万円(21.3%)の増益、経常利益は51億11百万円と前年同期に比べ7億37百万円(16.9%)の増益となりました。四半期純利益は31億80百万円と前年同期に比べ4億63百万円(17.1%)の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

## &lt;放送&gt;

当第2四半期連結累計期間におきましては、オリジナルドラマの新ジャンルへの挑戦や「WOWOWメンバーズオンデマンド」との連動を図るなど「WOWOWプライム」、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」の各チャンネルの編成を強化しました。また、当社が放送権を有しているものの放送時間の都合上紹介できないコンテンツを「WOWOWメンバーズオンデマンド」で生配信するなどお客さまのご要望に応えるとともに、デジタルコミュニケーションを強化しました。

「WOWOWプライム」では、「CSI：12 科学捜査班」などの海外ドラマのほか、「連続ドラマW パンとスープとネコ日和」や「連続ドラマW 鍵のない夢を見る」などのオリジナルドラマが好評を得ました。

「WOWOWライブ」では今夏復活を果たしたサザンオールスターズのツアー最終公演生中継や「全米オープンテニス」などの大型ライブ・スポーツが加入獲得に貢献しました。それらの模様は「WOWOWメンバーズオンデマンド」でも生配信し、お客さまとの接触頻度の増加に繋がりました。

「WOWOWシネマ」では「007 スカイフォール」や「のぼうの城」などの話題作が好評を得ました。

映画製作では、WOWOW FILMS 製作参加作品「図書館戦争」、「リアル～完全なる首長竜の日～」などを公開しました。

また、加入・未加入を問わず、お客さまにコンテンツとの出会いの場を提供する新たなサービスとしてのコミュニケーションサイト「W流 by WOWOW」を4月30日より開始しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は336億80百万円と前年同期に比べ28百万円(△0.1%)の減収、セグメント利益は49億87百万円と前年同期に比べ11億26百万円(29.2%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第2四半期末時点において375,192件(前年同期末に比べ24,100件の増加)となっております。

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,415円(税込)の視聴料金を945円(税込)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	216,232 (△27.5%)	245,444 (△17.2%)	△29,212 (-)	2,602,206 (2.1%)

## &lt;テレマーケティング&gt;

連結子会社の(株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。セグメント間内部売上増加により、当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は28億94百万円と前年同期に比べ14百万円(0.5%)の増収となりましたが、引き続き外部環境は厳しく、高付加価値サービス開発費用の増加及び通信設備の移管費用発生などにより、セグメント損失は34百万円(前年同期は2億31百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は568億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億69百万円の増加となりました。主な要因は、固定資産で投資有価証券が増加したことによるものです。

(負債)

負債は209億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億99百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が減少したこと及び借入金の返済によるものです。

(純資産)

純資産は359億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億69百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント上昇し、62.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ6億21百万円減少し、129億2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は33億45百万円(前年同期比5億30百万円増)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益51億3百万円及び減価償却費14億48百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額16億76百万円、その他の負債の減少額7億70百万円及び仕入債務の減少額7億57百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は19億88百万円(前年同期比5億37百万円減)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出9億1百万円、投資有価証券の取得による支出4億25百万円及び定期預金の預入による支出4億12百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は16億22百万円(前年同期は16億63百万円を得た)となりました。主な要因は、配当金の支払額8億65百万円及び長期借入金の返済による支出7億50百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25(2013)年5月15日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成25年3月期決算短信(平成25年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ (IR資料室))

[http://www.wowow.co.jp/co\\_info/ir/ref/](http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/)

(東京証券取引所ホームページ (上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

## 2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお特定子会社の異動には該当しませんが、第1四半期連結会計期間において、放送セグメントであった(株)WOWOWマーケティングを連結の範囲から除外しております。また、平成25(2013)年6月24日提出の第29期有価証券報告書に記載のとおり、平成25(2013)年5月にWHDエンタテインメント(株)を子会社化しておりますが、連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております(前連結会計年度末時点においては持分法非適用関連会社)。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,063	14,934
売掛金	3,885	3,780
番組勘定	13,136	12,972
貯蔵品	56	58
繰延税金資産	996	1,015
その他	1,276	1,253
貸倒引当金	△154	△136
流動資産合計	34,260	33,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,410	2,421
機械及び装置(純額)	4,110	4,675
工具、器具及び備品(純額)	935	793
その他(純額)	9	18
有形固定資産合計	7,466	7,908
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	1,714	1,478
無形固定資産合計	6,726	6,489
投資その他の資産		
投資有価証券	6,186	7,319
繰延税金資産	95	63
その他	1,539	1,270
貸倒引当金	△47	△33
投資その他の資産合計	7,774	8,619
固定資産合計	21,967	23,017
資産合計	56,227	56,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,310	11,583
1年内返済予定の長期借入金	1,500	750
未払法人税等	1,634	1,846
賞与引当金	52	53
その他	5,597	5,033
流動負債合計	21,094	19,267
固定負債		
退職給付引当金	1,395	1,417
繰延税金負債	—	106
その他	152	151
固定負債合計	1,547	1,675
負債合計	22,642	20,942

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	25,149	27,256
株主資本合計	32,888	34,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	544
繰延ヘッジ損益	241	218
その他の包括利益累計額合計	492	762
少数株主持分	204	196
純資産合計	33,584	35,954
負債純資産合計	56,227	56,897



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	35,130	34,966
売上原価	18,927	18,000
売上総利益	16,203	16,966
販売費及び一般管理費	12,121	12,013
営業利益	4,082	4,953
営業外収益		
受取利息	1	2
持分法による投資利益	207	191
為替差益	49	—
その他	46	37
営業外収益合計	305	230
営業外費用		
支払利息	10	5
為替差損	—	63
その他	2	3
営業外費用合計	13	72
経常利益	4,374	5,111
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	9	9
ゴルフ会員権評価損	9	—
特別損失合計	18	9
税金等調整前四半期純利益	4,355	5,103
法人税、住民税及び事業税	1,626	1,896
法人税等調整額	6	27
法人税等合計	1,632	1,924
少数株主損益調整前四半期純利益	2,723	3,179
少数株主利益又は少数株主損失(△)	6	△1
四半期純利益	2,716	3,180

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,723	3,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	294
繰延ヘッジ損益	△90	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	△60	62
その他の包括利益合計	△225	270
四半期包括利益	2,498	3,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,491	3,451
少数株主に係る四半期包括利益	6	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,355	5,103
減価償却費	1,333	1,448
のれん償却額	10	—
機械設備撤去費用引当金の増減額(△は減少)	△33	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42	△29
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40	22
受取利息及び受取配当金	△22	△21
支払利息	10	5
為替差損益(△は益)	137	△108
持分法による投資損益(△は益)	△177	△38
固定資産除却損	9	9
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
ゴルフ会員権評価損	9	—
売上債権の増減額(△は増加)	△842	102
前受収益の増減額(△は減少)	△4	2
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,090	159
仕入債務の増減額(△は減少)	644	△757
未払消費税等の増減額(△は減少)	418	△208
その他の資産の増減額(△は増加)	385	86
その他の負債の増減額(△は減少)	△793	△770
小計	3,343	5,006
利息及び配当金の受取額	22	21
利息の支払額	△10	△5
法人税等の支払額	△540	△1,676
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,814	3,345
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,643	△412
有形固定資産の売却による収入	—	1
有形固定資産の取得による支出	△457	△901
無形固定資産の取得による支出	△420	△269
投資有価証券の取得による支出	—	△425
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△0	△1
敷金及び保証金の回収による収入	0	20
その他の支出	△5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,525	△1,988

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△750	△750
配当金の支払額	△576	△865
少数株主への配当金の支払額	△10	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,663	△1,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,850	△235
現金及び現金同等物の期首残高	8,191	13,524
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△386
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,041	12,902

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	放送	テレマーケ ティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,680	1,286	34,966	—	34,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1,607	1,607	△1,607	—
計	33,680	2,894	36,574	△1,607	34,966
セグメント利益又は損失(△)	4,987	△34	4,953	△0	4,953

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び単元株制度の採用)

平成25年4月26日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付けで株式分割及び単元株制度の採用を行いました。

1. 株式分割及び単元株制度の採用の目的

単元株式数(売買単位)を100株に統一することを目的として全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」(平成19年11月27日付)及び「売買単位の100株と1000株への移行期限の決定について」(平成24年1月19日付)の趣旨に鑑み、株式分割を実施し、単元株制度を採用しました。なお、本株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年9月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載または記録された株主が有する当社普通株式を、1株につき100株の割合をもって分割しました。

(2) 分割により増加した株式数

① 株式分割前の発行済株式数	144,222株
② 今回の分割により増加する株式数	14,277,978株
③ 株式分割後の発行済株式数	14,422,200株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	57,000,000株

(3) 分割の効力発生日

平成25年10月1日

3. 単元株制度の採用の概要

(1) 新設した単元株式の数

株式分割の効力発生日である平成25年10月1日をもって単元株制度を採用し、単元株式数を100株としました。

(2) 新設の効力発生日

平成25年10月1日

## 4. 補足情報

## (1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高（百万円）	前年同四半期比（％）
放送	33,680	99.9
テレマーケティング	1,286	90.5
合計	34,966	99.5

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 放送セグメントには有料放送収入32,313百万円を含んでおります。

## (2) 四半期個別業績情報（参考）

## ① 個別経営成績（累計）・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	33,680	0.0	4,987	29.8	5,245	26.4	3,304	27.1
25年3月期第2四半期	33,679	8.0	3,842	△16.8	4,151	△20.9	2,598	△25.6

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期第2四半期	51,907	31,224		
25年3月期	50,773	28,577		

(注) 個別経営成績（累計）・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## ② 平成26年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	68,500	1.2	7,300	17.7	4,500	15.9	312	02

- (注) 1. 当四半期における業績予想の修正はありません。  
 2. 個別業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で行った株式分割を考慮した額を記載しております。

## (3) 役員の変動（役職の変動）

新役名及び職名		旧役名及び職名		氏名	異動年月日
常務取締役	—	常務取締役	マーケティング 局長	黒水 則顕	平成25年7月1日